

令和7年度 教育計画 四国中央市立川之江南中学校						学校番号	2
校長名	篠原隆輔	学級数	16 (4)	児童 生徒数	431	教職員数	32



重点目標	1 「徳」…礼節を尊び思いやりの心を持つ ○ 人権・同和教育を推進し、多様性を認め自他を大切にする心を育てる。 ○ 「あ・は・は」運動を推進し、人間力の基盤を整える。 ○ 心のふれあいを図り、自己有用感や自尊感情を高め、いじめや不登校、非行の未然防止、早期発見、解決を行う。 ○ 考え、議論する道徳を充実させ、道徳性を養い、道徳的实践力を育てる。 2 「知」…意欲的に、自ら学習に取り組む ○ 主体的・対話的で深い学び、授業のユニバーサルデザイン化に向けた I C T の効果的な活用（デジタルとアナログのベストミックス）による授業改善を進め、生徒が分かるできる授業づくりを行う。 ○ 授業を通して学習規律と基本的学習習慣を確立させる。 ○ 家庭と連携して家庭学習の定着と学習機会の充実により、基礎学力の定着を図る。 3 「体」…自ら体力・健康づくりに取り組む ○ 規範意識を高め、時間厳守をはじめとする望ましい生活習慣を育てる。 ○ 健康や食に関する教育を充実させ、主体的に体力・健康づくりに取り組む生徒を育成する。 ○ 安全教育を充実させ、交通安全や防災への意識を高め、実践力を育てる。 ○ 保護者や地域と連携した学校支援体制を構築し、地域と共にある学校づくりを進める。
管理運営	1 人的管理 ○ コミュニケーションを取り合い、優しく温かい教職員集団の育成を図る。 ○ 子どもの心に灯をともし、成長を共に喜ぶ教職員の育成を図る。 ○ 服務規律の厳守に努め、教育公務員としての自覚と危機管理意識を高める。 ○ 教職員の心身の健康管理と相談体制の確立に努める。 ○ 校務の平準化と効率の良い業務に努め、時間外在校等時間の短縮を実現する。風通しのよい働きやすい職場環境を作る。 ○ C S を通じて地域人材を有効活用するとともに、学校応援ボランティアの活用を進める。 2 物的管理 ○ 教育の場にふさわしい安全安心な環境づくりの推進と危険物の厳正な保管を行う。 ○ 施設・設備の安全点検の徹底と事故防止対策の即時対応に努める。 ○ 学習機器や教材教具の整備充実を図る。 ○ 避難所運営をはじめ災害に備えた地域との連携強化を図る。 3 事務管理 ○ 効率の良い事務処理と協働体制の確立を図る。 ○ 情報セキュリティポリシーの徹底と個人情報の厳正な管理を行う。 ○ 会計処理の確認の徹底及び合理的な経理事務の推進に努める。 ○ 適正な文書整理と管理の徹底を図る。 ○ 校務支援システムの効果的な運用による業務負担軽減を進める。
本校教育の特色	本校は、昭和 39 年に 4 校が統合して誕生した 60 年以上の歴史を持つ学校である。地域は学校に協力的で、生徒指導の充実を図るための関係機関の連携が図られており、「おやじの会」による活動が長年継続されている。地域の方々を講師に招き、生徒と共に活動する「地域ふれあい講座」や、毎月のボランティアによる中学生への読み聞かせも実施されてきている。その連携を活かしながら、模範や目標となる地域の大人との出会いを通じて、ふるさとである川之江、四国中央市に誇りを持てる生徒を育成していきたい。また、伝統的に部活動が盛んで、近年でも運動部や文化部で好成績を残している。学校行事や部活動など、生徒が様々な体験の中で命を輝かせるよう教育を推進していきたい。